

平成28年度決算について

学校法人駒澤大学の平成28年度決算は、監事および公認会計士の監査を経て、平成29年5月29日の理事会・評議員会において承認されました。

①資金収支について

【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は259億1,111万円となりました。主な項目は学生生徒等納付金収入155億7,849万円。入学検定料などの手数料収入11億1,606万円。駒澤大学開校130周年記念棟建設寄付金、教育後援会・同窓会等の後援団体、KUサポート等からの寄付金収入12億2,954万円。国や地方公共団体からの補助金収入15億5,352万円。私学退職金財団等交付金などの雑収入8億3,830万円。授業料・入学金等の前受金収入78億1,136万円。各種引当特定資産取崩等のその他の収入50億2,010万円。これらに資金収入調整勘定、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計は、409億4,595万円となりました。

【支出の部】

翌年度繰越支払資金を除いた当年度支出は252億4,757万円となりました。主な項目は人件費支出106億6,525万円。教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出38億4,463万円。教育・研究を間接的に支援する管理経費支出11億3,390万円。日本私立学校振興・共済事業団、市中銀行等への借入金等返済支出13億6,522万円。駒澤大学開校130周年記念棟建設工事、玉川キャンパス隣接地取得及び関連工事（校舎改修・体育館空調設備）、祖師谷寮・野球場再整備事業工事等の施設関係支出38億2,738万円。KOMAnet関連のリプレイス、駒澤大学1号館の教場リプレイスや机・椅子リニューアル、証明書自動発行機更新等の教育研究等に要する機器備品や図書などの設備関係支出3億9,716万円。各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出30億円。これらに資金支出調整勘定、翌年度繰越支払資金等を加えた支出の部合計は、409億4,595万円となりました。

②活動区分資金収支について

【教育活動による資金収支】

教育活動による資金収支は、キャッシュベースでの本業の教育研究活動の収支状況を表しています。学生生徒等納付金収入、手数料収入のほか、施設設備整備以外の特別寄付金収入や経常費等補助金収入などの教育活動資金収入計194億9,565万円から人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などの教育活動資金支出計152億2,979万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等3億8,542万円を加えた教育活動資金収支差額は、46億5,127万円のプラスとなりました。

【施設整備等活動による資金収支】

施設整備等活動による資金収支は、施設設備の取得・売却等の活動に関する収支状況を表しています。施設設備補助金や施設設備寄付金、施設設備売却収入、第2号基本金引当特定資産等の取崩収入などの施設整備等活動資金収入計42億901万円から施設関係支出、設備関係支出、建設準備引当特定資産等の再組入・積み増しによる繰入支出などの施設整備等活動資金支出計59億7,455万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金され

る調整勘定等 589 万円を加えた施設整備等活動資金収支差額は、 17 億 5,963 万円のマイナスとなりました。

【その他の活動による資金収支】

その他の活動による資金収支は、借入金の収支、資金運用の状況等の財務活動、預り金等の受け払い等の経過的な活動に関する収支状況を表しています。受取利息・配当金収入、有価証券売却収入、退職給与引当特定資産等の有価証券償還に伴う取崩収入などその他の活動資金収入計 17 億 8,989 万円から借入金等返済支出、預り金支払支出、退職給与引当特定資産等の再組入・積み増しによる繰入支出などその他の活動資金支出 40 億 2,260 万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等 460 万円を加えたその他の活動資金収支差額は、 22 億 2,810 万円のマイナスとなりました。

教育活動による資金収支差額、施設整備等活動による資金収支差額、その他の活動による資金収支差額の収支差額を合計した結果、支払資金は前年度より 6 億 6,353 万円増加し、翌年度繰越支払資金は 156 億 9,837 万円となりました。

③事業活動収支について

【経常収支】

教育活動収支は、本業である教育研究活動を行うための収入・支出です。学生生徒等納付金や経常費等補助金などの教育活動収入計 195 億 135 万円から人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計 165 億 5,352 万円を差し引いた教育活動収支差額は 29 億 4,783 万円の収入超過となりました。なお、この支出のうち 16 億 933 万円は減価償却額によるものです。

教育活動外収支は、受取利息・配当金や借入金等利息のように財務的な活動に伴う収入・支出です。受取利息・配当金による教育活動外収入計 1 億 5,939 万円から借入金等利息による教育活動外支出計 1 億 198 万円を差し引いた教育活動外収支差額は 5,740 万円の収入超過となりました。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は教育活動収支差額と教育活動外収支差額の計で、 30 億 523 万円の収入超過となりました。

【特別収支】

特別収支は、施設設備に関する寄付金・補助金や資産売却・資産処分等の臨時的な収入・支出です。有価証券の償還等による資産売却差額や施設設備に関する寄付金・補助金などの特別収入計 15 億 3,999 万円から資産処分差額、退職給与引当金特別繰入額などの特別支出計 12 億 6,500 万円を差し引いた特別収支差額は 2 億 7,499 万円の収入超過となりました。

【収支差額】

経常収支差額と特別収支差額の合計額である基本金組入前当年度収支差額は 32 億 8,023 万円の収入超過となり、ここから基本金組入額 22 億 6,015 万円を差し引くと、平成 28 年度の当年度収支差額は 10 億 2,007 万円の収入超過となりました。

学校法人会計基準の改正に伴う第 4 号基本金取崩しなどにより 16 億 4,202 万円基本金を取崩した結果、翌年度繰越収支差額は 177 億 8,228 万円の支出超過となりました。

なお、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の事業活動収入の部を合計した事業活動収入計は212億74万円、事業活動支出の部を合計した事業活動支出計は179億2,051万円となりました。

④貸借対照表について

【資産の部】

有形固定資産は、旧駒澤大学北海道教養部移管図書の整理・処分により図書が減少したものの、駒澤大学開校130周年記念棟建設工事、玉川キャンパス隣接地取得等により23億6,212万円増加しました。特定資産は退職給与引当特定資産や建設準備引当特定資産が繰り入れにより増加したものの、計画に従い第2号基本金引当特定資産を取崩したことなどにより9億7,684万円減少しました。その他の固定資産は長期前払金や長期貸付金が減少したものの、差入保証金の増加により656万円増加しました。流動資産は、現金預金・未収入金等の増加により4億8,997万円増加しました。その結果、前年度より18億8,181万円増加し、資産総額は977億5,730万円となりました。

【負債の部】

固定負債は、借入金を約定どおり返済するなど長期借入金等の減少により7億9,424万円減少し、また流動負債も短期借入金、預り金や未払金等の減少により6億417万円減少しました。その結果、前年度より13億9,841万円減少し、負債総額は216億5,378万円となりました。

【純資産の部】

基本金総額は前年度より6億1,813万円増加し、938億8,580万円となりました。繰越収支差額は当年度収支差額が10億2,007万円の収入超過となったことに加え、基本金取崩額16億4,202万円を計上したことにより177億8,228万円の支出超過となりました。その結果、前年度より32億8,023万円増加し、純資産は761億352万円となりました。